

I 類（児童福祉）専門試験

【例題 1】

2022 年 5 月に成立した「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

これまで生活上で困難な問題を抱える女性に対する社会福祉の支援は、アが中心となって実施されてきた。しかし、近年女性をめぐる課題が複雑化、多様化、複合化してきたことから、新たに「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が制定された。この法律の基本理念には、イの協働が明記されている。また都道府県にはウの設置が義務付けられ、ウが困難な問題を抱える女性の相談に応じたり、必要があれば一時保護を行ったりすることなどが規定されている。

ア	イ	ウ
1. 売春防止法	各関係省庁	女性相談支援センター
2. 売春防止法	各関係省庁	婦人相談所
3. 売春防止法	関係機関及び民間の団体	女性相談支援センター
4. 男女共同参画社会基本法	各関係省庁	女性相談支援センター
5. 男女共同参画社会基本法	関係機関及び民間の団体	婦人相談所

（正答：3）

I 類（児童福祉）専門試験

【例題 2】

「令和 4 年度 社会保障費用統計」（国立社会保障・人口問題研究所）に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2022 年度の社会保障給付費の総額は 200 兆円を超えている。
2. 社会保障給付費を「医療」、「年金」、「福祉その他」に分類すると、「年金」が最も多い。
3. 社会保障財源の構成割合をみると、公費負担は社会保険料よりも大きい。
4. 人口 1 人当たりの社会支出は 100 万円未満である。
5. 社会支出を政策分野別にみると、「家族」は「高齢」よりも大きい。

（正答：2）